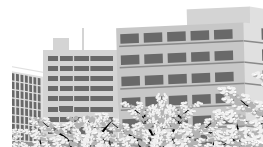


会員の広場



コロナ禍、ネパールでの久しぶりの
ボランティア活動!!

田川 修司 (東京)

OKバジの84歳を祝う「チョウラツシーブジャ」(写真)が10月9日ネパールで行われるので「いきいきフォーラム草の根支援」のボランティア活動仲間と支援活動援助やお祝い会に参加する為にネパールへ行って来ました。今回(2022年10月5日~15日)のネパールは、到着日からずっと雨降りです。寒い、思ってもよらない最悪の天候の毎日でした。通常この時期はほとんど雨が降ることがなく空気が澄んでいて雲も少ないのでカトマンズ周辺の丘陵からヒマラヤ山脈を望めますが、期待

していたネパールの秋らしい真つ青な空に浮かぶ真つ白なヒマラヤ山脈の雄姿などは一度も見ることが出来ませんでした。悪天候でポカラへの飛行機が飛ばない、道は土砂崩れで通行できず、今回は全く考えられない過酷な旅の連続でした。予定を変更して南のバイラワに行き、雨降りの夜中、土砂崩れのある大荒れの道路を車を飛ばしてタンセンに到着、日に焼けて皺が刻まれた穏やかな笑顔とかがざらない人柄のOKバジと再会することが出来ました。そして、チョウラツシーブジャのお祝いに無事に参加することが出来ました。日に焼けて皺が刻まれた穏やかな笑顔とかがざらない人柄のOKバジ・垣見一雅さん。54歳の時に東京の女子学園での英語教師退職を決意して、ネパールのバルパ郡で1人でボランティア活動を始めました。ネパール語が話せなかった頃、村人達の窮状を聞いて「OK、何とかしてやるよ」と応えていた。いつしか子供達から「OKバジ」(Om: おじいさん)と呼ばれるようになりました。村々に学校を

建てたり、病人に治療費を援助したり、人々の困っている事柄を援助して約30年間。人生の全てを捧げています。

10月9日のチョウラツシーブジャのお祝いの日はビックリするほどの好天に恵まれました。ネパール語で数字の84を「チョウラツシーブジャ」は祈りを意味します。「Chaurasi puja」ネパールでは、84歳というのにはかなりの長寿なので特別なお祝いをするようです。生れてから1000回目の満月を迎えるのも重なるので皆さんでお祝いをします。

チョウラツシーブジャの式では、体重と量のコインを用意して参加者に長寿のお裾分けとして一握りずつコインを配ります。OKバジの体重は、60kg位です。遠い村から往復10時間もかけて歩いて到着してきた人達が土砂崩れの道乗り越えてやって来た人が出た人々とか、約3000人位の人達が集まって盛大な素晴らしいチョウラツシーブジャのお祝い会でした。過酷な気象の毎日でしたが支援した学校の図書館の開所式、橋の完成式、ヘルスクリニックの開所式等々にも予定通り参加することが出来ました。今回も、OKバジと素晴らしい活動を一緒にすることが出来て毎日、大変有意義な日々を過ごすことが出来ました。最近では、新型コロナウィルス感染問題やロシアのウクライナ侵襲などが世界中を大きく変えています。我々の生活も大いに付きにくく大変な状況です。価値観・人生観なども変化して来ていて早く安心・安全な生活が来る日々が来ることを願っています。

